

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

麓山の杜 1月のイベント

◆「いけばな教室（池坊）」全3回

日時：①1月12日(土) 10:30~12:30

②1月19日(土) 10:30~12:30

③2月9日(土) 10:30~12:30

場所：とんがりふれあい館

定員：各15名

参加費：1回1,500円

◆「麓山の杜 新春茶会」

日時：1月27日(日) 10:00~15:00

場所：麓山荘 参加費：1,000円

平成24年度【みどり講習会】

次回：3月10日(日) 午前開催
場所：麓山の杜 『杜のエントランス』

テーマ：「記念樹の育て方初歩講座」
時間：午前 10:30~12:30

※ワンポイント リガーデン（庭の改良）相談

記念樹交付「10時~15時」他は事務所へ

樹木医の先生が、緑に関するご質問にお答え致します。
参加費無料ですので、お気軽にご参加ください。

ガーデニング ワンポイント

植物は寒さに耐えて春を待ちます

明けましておめでとうございます。また一年が始まりましたね。震災からの復興が除染を含め進んできました。一日でも早い以前の生活が戻ることを年の初めに願いたいですね。みどり通信も皆さんへの情報発信が出来ますように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

【水やり】 気温も下がりましたが乾燥が続くときはこれからの季節でも灌水は必要です。特に今年植えた樹木などはまだ根の張りも少ないので水の管理は大事です。また常緑樹は冬でも蒸散をしますので必要です。水やりは暖かい日の午前中にあげ、その水が凍らないようにします。

【肥料】 樹木はこの時期が寒肥のシーズンとなります。この時期は未醗酵の骨粉入り油粕などの遅効性有機質肥料がむきます。根の先端近くを数か所、壺穴状に掘りそこに肥料を入れて埋め戻します。冬の間に行う寒肥で春先の芽出しが違います。粘質土の土壤改良には冬場の天地返しを土を柔らかくします。天地返しとは土壌を反転耕起することです。土が凍ることによって細かくなります。その時に堆肥や腐葉土を混ぜ込むとさらに良くなります。粘質で困っている方は行ってみる価値があります。

【病虫害防除】 この時期はカイガラムシ、アブラムシなどの防除が厄介な害虫の駆除に適しています。石灰硫黄合剤やマシン油乳剤などのこの時期しか使用できない薬剤で防除する事が可能です。石灰硫黄合剤は病気にも効果があります。ただし石灰硫黄合剤はアルカリ性薬剤の為に臭いが強く体にも刺激が強く、また金属なども腐食させたりする薬害もありますので使用方法を順守しなければなりません。ただ安価で効果があり古くから使用されている薬剤です。

12/15(土)緑化フェア教室の作品

「景色盆栽と関守石づくり」



【剪定】 この時期は常緑樹広葉樹を剪定することは控えます。寒さによって春の芽吹きが悪くなり枯れてしまう事もあります。マツ類は枝透かしなどをしてさっぱりとさせます。落葉樹の強い剪定はこの時期に行います。ただし今年の花芽が出来ている樹木は注意しないと花芽まで切ってしまいます。またカエデ類はすでに水分を上げていますので剪定は控えます。行くと切り口から樹液が出て樹勢を弱めてしまいます。落葉樹といっても総て同じわけではありません。また剪定作業は季節に応じた強弱が大事です。剪定を強く行くと樹木は風邪をひいてしまいますよ。

【植え替え】 とくに常緑広葉樹は寒さの害を受けやすいために行いません。良い植栽時期は春の彼岸頃です。落葉樹は落葉しているこの時期が適期です。ただし厳寒期は避けます。ただカエデ類は剪定と同じく行いません。針葉樹は適期ではありませんが可能です。移植のコツは根鉢をなるべく大きくとって土と根がばらけないようにすることです。

意外と知らない植物の世界

この冬は昨年の暮れから冷え込む日が多く、日当たりの悪いところでは土が固く凍っています。郡山市内でも今年も平年並みの冬の様です。樹木は落葉樹はとうに葉を落していますが、常緑樹は寒さに耐えて生きています。寒さに対する強弱は常緑広葉樹は弱く落葉樹は強いという事になります。落葉樹は寒さに耐えるために自ら葉を落します。葉がついていては寒さで凍ってしまい枯れてしまう事があるからです。日本列島を北に進むほど落葉樹の森になりそして針葉樹の森になります。逆に南ではカシ類やツバキやクスノキなどの照葉樹のうっそうとした森が存在します。郡山でも昨年の冬は寒さが厳しく植えたばかりのサザンカなどが枯れてしまった場合があります。冬の寒風が強い場所ではキンモクセイなどが落葉樹となってしまう場合があります。そのような場所は常緑広葉樹がむかない所といえます。樹木は厳しい冬を乗り切るために体内の糖分濃度を高めて凍らないようにして防御します。夏から秋にかけて葉で光合成を行い体内に糖をため込んでいるのです。ですからその時期に強い剪定や移植は逆効果となります。

街で見かけた植物

白玉ツバキ（シラタツバキ）

ツバキ科ツバキ属の常緑低～高木

ツバキは品種が1千種類と言われるほど多く存在します。開花の時期も品種により異なりますが、この白玉ツバキはこの時期に純白の花が開花します。茶花としても用いられます。ただ餌の少ないこの時期はヒヨドリなどの害を受けやすくまた寒さによっても花が痛んでしまう事があります。

